

五丁目防災会だより

No. 2

発行所
鶴沼海岸五丁目町内会
編集者
防災会 事務局

桜の便りも聞かれる頃となってきました。日頃は町内会活動にご協力頂きまして有難うございます。先ごろ実施致しました「町内の防災意識調査」のアンケートに多数の方にご協力いただき有難うございました。アンケート調査の集計結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。今後も今回のアンケート調査の結果をもとに防災活動を進めてまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

鶴沼海岸五丁目町内会
会長 野村 京子

今回の内容

1. 防災アンケート調査結果報告
2. '09.12.10 2nd. 災害リスク情報シンポジウム参加報告
3. チリ沖地震津波雑観



1. 防災アンケート集計結果 概要説明

I：実施および回答について

実施時期：2010年 2月
対象：鶴沼海岸五丁目町内会加入全世帯 432世帯
調査方法：各組組長さんに配布および回収を依頼
回答数：288世帯 (回答率 66.7%)

回答率66.7%は、当町内の方々の防災への関心の高さは高いと見るには微妙で、いつ起こるかも知れない災害に対して、関心を持ち、備えを高める必要があると感じる。全く回答のなかった組が、2、15、17、19、24組・57世帯で全体の13%に相当する。今後の実施方法について、工夫、検討すべき課題となった。

II：各質問に対する回答

1) 災害発生時に皆様が危惧されていることについては、60件の回答がありました。

288世帯からの回答にしては少なく、項目では15項目程度でした。

災害発生時にどう避難し、避難生活がどうなるのか、イメージが湧かないものと思われる。

これは当然であるので、実際に被害に遭われた方々にお話していただくことも必要かと思われる。しかしながら、過去に水害にあっているので、やはり津波や増水が一番の心配事のようなのである。

- | | | | |
|----------------------|-----|-----------------|-----|
| 1. 津波、増水の心配 | 22件 | 2. 避難できるかどうか | 6件 |
| 3. 避難場所の問題 | 6件 | (高齢、足が悪い、障害者など) | |
| (収容数、プライバシー確保、トイレなど) | | 4. 情報伝達、防災組織って? | 6件 |
| 5. 大災発生、液状化、地割れなど | 4件 | 6. 家族との連絡、帰宅経路、 | 4件 |
| 7. ベットについて | 2件 | 8. その他 | 10件 |

2) 非常時の持出品について

①非常時持出品を備えていますか

6割強のご家庭が、災害への持出品の備えをしている。

備えています	65%
備えていません	35%

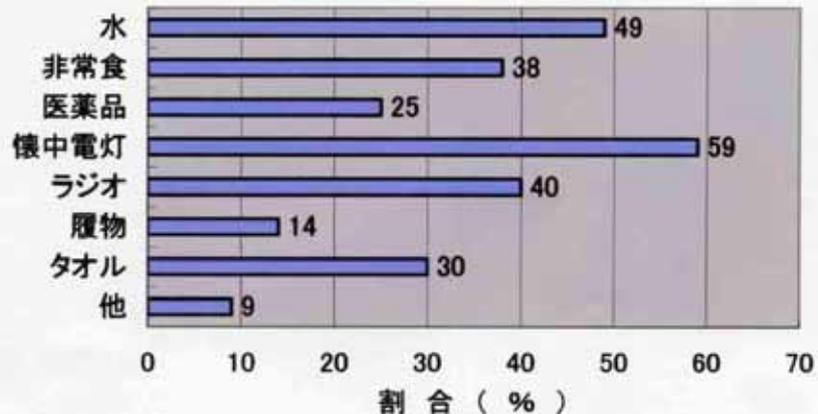


②どのようなものを備えていますか

水、非常食、懐中電灯、ラジオなどおよそ半数の世帯が備えている。

さらに以下の物を持出品としてあげています。

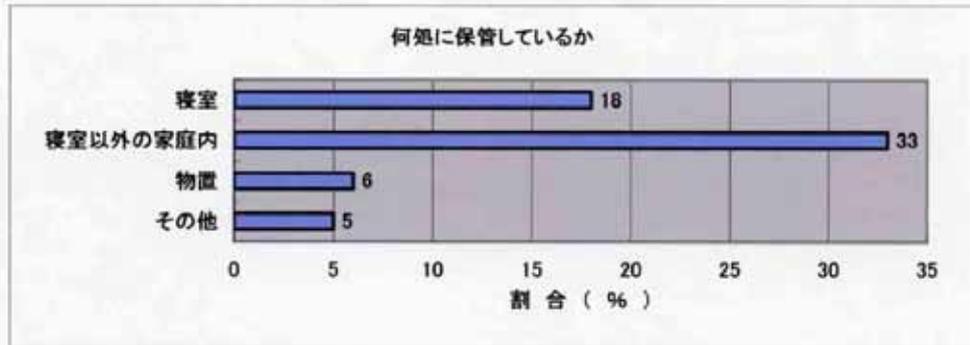
どのような物を備えているか



下着類	11件
簡易トイレ	7件
ローソク・マッ	6件
ティッシュなど	5件
生理用品	4件
軍手など	4件
その他お金など	43件

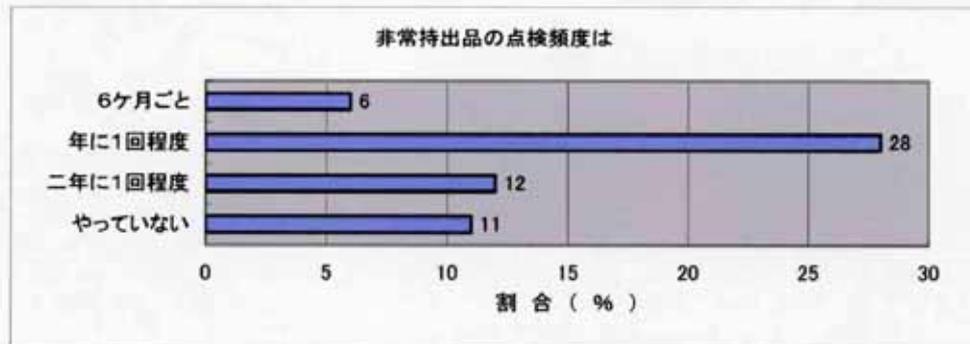
③それらはどこに保管していますか

半数の家庭が身近に置いている。



④それらの点検の頻度はどれくらいですか

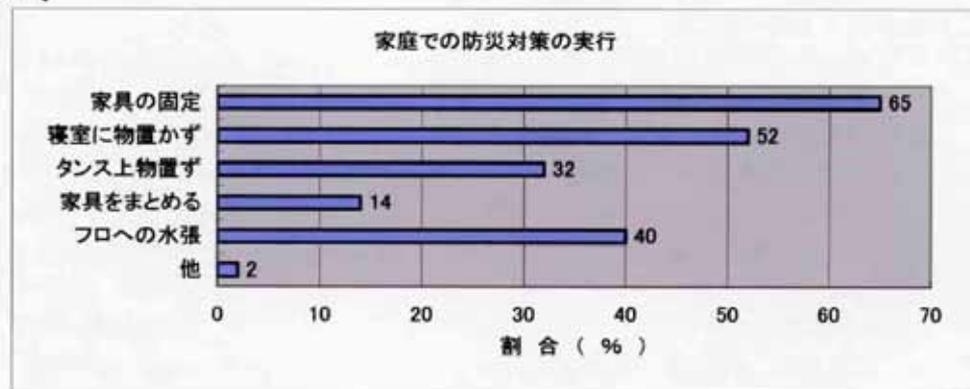
およそ半数の家庭がきちんと管理している。



3) 家庭内での防災対策について

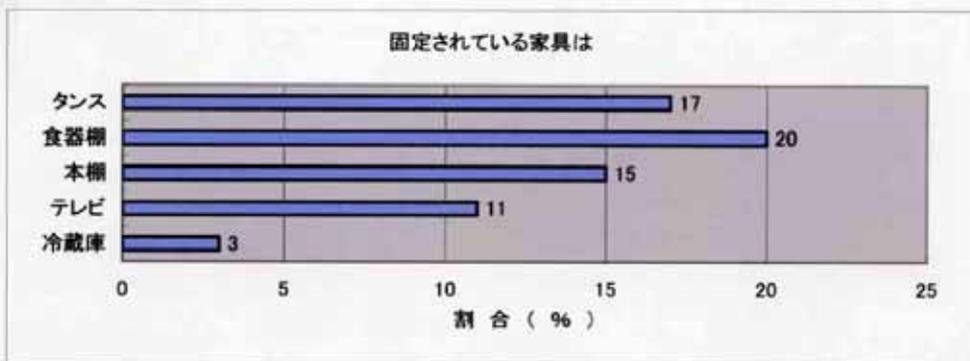
①実行している防災対策
家具の固定とか寝室に物を置かないなど半数以上の家庭が対策をとっている。

そのほか
家具などのガラス部分は飛散防止をしている。窓なども同様である。



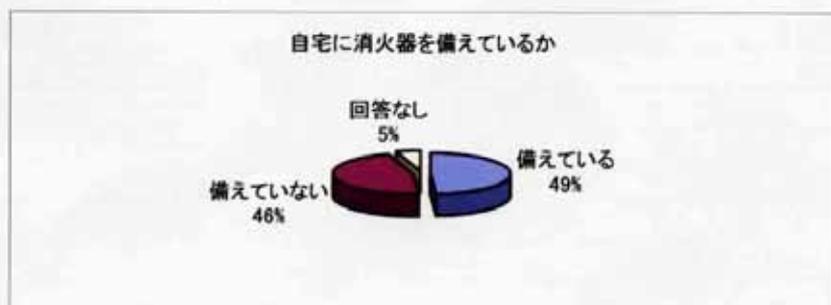
②実施されている家具の固定の内容について

そのほか
食器棚などの開き戸には、止め金具をつけている。



4) 自宅に消火器を備えていますか

およそ半数の家庭で消火器が設置されている。

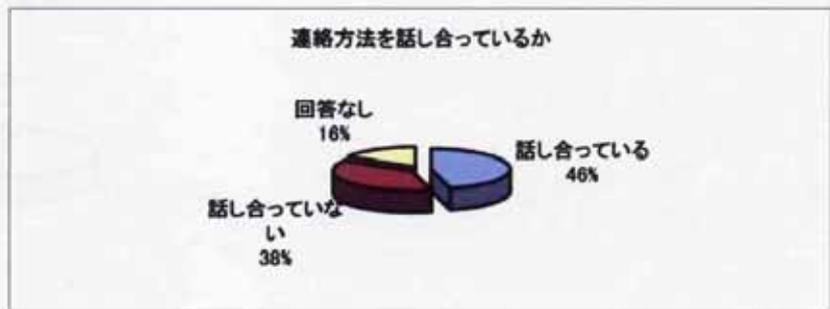


5) 災害発生した場合、家族の間での連絡方法について

①家族の間では連絡方法を

話合っているか

回答があった中では、連絡方法を半数以上の家庭で話しあわれている。



②お互いの連絡方法については

連絡方法	割合
イ 避難・集合場所を決めている	21%
ロ 子供が学生の場合、学校へ	13%
ハ 町内会、市の指定避難場所へ	23%
ニ 電話による連絡を取ってみる	22%
ホ 携帯電話を家族全員が持っている	49%
ヘ 他府県の親類・友人を通じて連絡する	4%
ト その他	1%



災害時の家族間での連絡方法は、20%程度で具体的な対応が決められていないようである。携帯電話を含めての電話連絡は、非常時には回線が混雑すること、携帯電話では電源切れなども考えておく必要がある。

《 ※ご参考 鶴沼海岸五丁目町内会周辺防災拠点 》

◆ご家族間で場所の確認をお勧めします。

一時避難場所	伏見稻荷神社	当町内会で決めた集合場所です。今後各組に近い公園や空き地を集合場所と決めるよう検討してはどうかと思います。
--------	--------	---

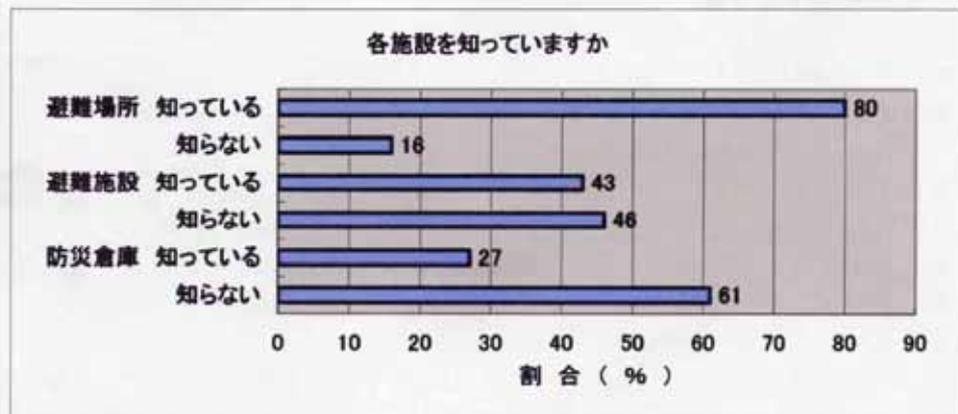
藤沢市で指定した施設			
広域避難場所	鶴沼運動公園	津波一時避難施設	鶴南小学校
避難施設	鶴南小学校		市営鶴沼住宅
	湘南なぎさ荘		伊藤園湘南支店
	太陽の家	鶴沼パークハウス	
※ 地区防災拠点	鶴沼市民センター 鶴沼公民館	水害避難所	ライツ鶴沼海岸
			湘南なぎさ荘
			鶴沼市民センター
			鶴南小学校
			太陽の家
			湘南なぎさ荘

6) 避難場所・避難施設・防災倉庫が何処にあるか知っていますか

避難場所は80%の家庭に知られているが避難施設では半数程度にしか及んでいない。防災倉庫になると、もはや知る人ぞ知るレベルである。

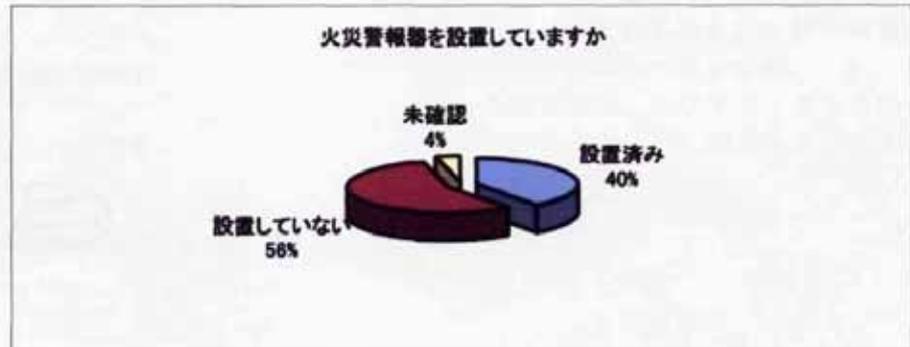
《防災倉庫》

伏見稻荷神社
集会所横に設置



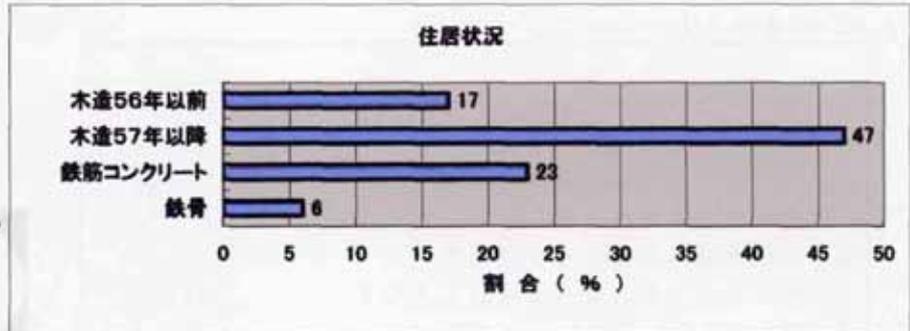
7) 住宅用火災警報器の設置

設置していない家庭が半数以上ある。
設置の斡旋希望者が多数いる場合、まとめて見積もりを取りたいと思います。
6月頃、希望者募集予定。



8) 住居状況

木造56年以前の家屋はほぼ全地域に分布しており、そのうち耐震補強が実施されているのはおよそ20%弱である。



2 災害リスク情報シンポジウム参加報告 5丁目防災会サブリーダー 佐藤 俊平

開催日 : '09年12月10日 会場 : 東京国際フォーラム

主催 : 独立行政法人 防災科学技術研究所

第2部 : 地域コミュニティの被害想定と災害リスクシナリオ

対象地域 ①長岡市山古志地域竹沢集落の実践と課題

②藤沢市鶴沼地区鶴沼海岸5丁目の実践と課題



テーマは地域が被る災害を自らどう想定し、対応するか、してきたかである。実際に山古志は新潟中越地震により、全村避難事態を経験し、また当町内会は、現在防災会を立上り進行中である。シンポジウムの印象としては、山間集落で人との関わりが親密な地域と都市型で近所間の繋がりの薄い当地域とでは、当然対応の仕方が違うなど感じた。山古志については、実際に被災したパネリスト5名が被害の実体験とその後の実践と課題等々を説明した。

当地域に関しては、自分を含め4名のパネリストが、災害に対する現状の取り組みと課題について紹介し、当町内会は防災会活動の活発化が当面の課題であることを説明をした。その主旨に沿って今回「防災意識調査」のアンケートを行った。シンポジウムの詳細については、後述のURLにアクセスしてください。

http://bosai-drip.jp/sympo2009_report.htm

記憶にも生々しい2.28チリ地震による津波警報が全土に発令され、公共機関による情報伝達で数々のトラブルが生じていた事から、今後、発生した諸問題が検証されることを期待する。情報伝達インフラが進んでいくが、いかに正確な情報が確実にかつスピーディに一般に伝わるような仕組みを確立しなければならない。今回の津波警報により、多少でも防災に関し意識が向いたことでもあろうし、津波、地震、水害等の被災が予想されます当地域で、皆様のご協力ですリスクを少しでも減らせるようにと防災会の一員として考えております。

※注意事項 URLでdripとreport後にドット、2009後にアンダーバーがあります。

3 チリ沖地震津波観

2/28 9:40

市防災センターより、大津波警報発令 避難の呼び掛けがある。

12時頃、海岸地域に鶴沼小湘洋中に避難所設置のアナウンスされる。同校、なぎさ荘に数名の方が避難。海岸道路より低い津波ということで、鶴沼橋の消防・警察による海岸の警備歩道橋付近に大勢の見物が出る。



津波を待つ人々

NHKでは津波のニュースを流す一方、民放では東京マラソンを放送、なんともゆるく、チグハグな光景であった。

町内会防災会事務局 桑島 威
鶴沼海岸5-9-34 TEL&FAX 34-1007